

“医療のノーベル賞”「プリ・ガリアン・インターナショナル」授賞式典を開催 日本発・第一三共の抗がん剤「エンハーツ」が 最優秀バイオテクノロジー賞を受賞！ 2027年2月には「プリ・ガリアン・ジャパン」日本初開催

国際的権威機関であるThe Galien Foundation（事務局：New York, USA、会長：Bruno Cohen）は、現地時間2026年10月29日（木）、ニューヨークの米国自然史博物館にて、第20回「プリ・ガリアン・USA」を開催しました。今年は2年に一度、世界各国の受賞製品の中からさらに最優秀を選出する「プリ・ガリアン・インターナショナル」の開催年にもあたり、同日・同会場で両賞が発表されました。

製薬・バイオ・医療技術分野のトップリーダーをはじめ、ノーベル賞受賞者、政策立案者、投資家など、世界の医療を牽引する関係者が一堂に会する中、**日本発の製品が世界最高峰の評価**を獲得。「プリ・ガリアン・インターナショナル」では、**第一三共／アストラゼネカの抗がん剤「エンハーツ」が最優秀バイオテクノロジー賞**に輝きました。



▲ニューヨーク・米国自然史博物館で開催された「プリ・ガリアン・インターナショナル」「プリ・ガリアン・USA」の様子（2026年10月29日）

売上データを考慮せず、科学的根拠と健康へのインパクトのみを評価するプリ・ガリアンは、現在世界17か国とアフリカ地域で展開され、世界の医療界で科学的に認められた証として、業界内外から高い信頼と評価を得ている、権威ある国際アワードです。その国際版で**日本発の抗がん剤「エンハーツ」が最優秀バイオテクノロジー賞を受賞**したことは、日本発の創薬技術が国際的に高く評価された成果と言えます。

この世界最高峰のアワード「プリ・ガリアン・ジャパン」が、**2027年2月25日（木）**、東京・ホテルニューオータニにていよいよ**日本初開催**を迎えます。ノーベル生理学・医学賞受賞者の山中伸弥教授・本庶佑教授からも祝福のメッセージが寄せられているプリ・ガリアン・ジャパンは、卓越した科学的イノベーションを育て、評価し、称え、世に広く知らせることを使命としています。この使命にご共感いただけるメディア・媒体の皆さまに、ぜひともその輪に加わっていただきたく、コラボレーションを広く歓迎します。

■ 受賞者コメント：「プリ・ガリアン・インターナショナル 2026」

最優秀バイオテクノロジー賞 [Best Biotechnology Product] | 第一三共／アストラゼネカ「エンハーツ」

《受賞者コメント（抜粋）》

プリ・ガリアン・インターナショナル「最優秀バイオテクノロジー賞」を受賞できることを大変光栄に思います。この部門での受賞は今回が2度目となり、2024年には米国の賞（プリ・ガリアン・USA 2024）を受賞しています。

エンハーツは、第一三共が2010年に研究を開始した独自のDXd ADC技術を基盤に、バイオ医薬品として史上最速クラスのスピードで開発されました。

7年間で9つの適応症において治療のあり方を変えるデータを示し、現在では世界で25万人を超える患者さんに使用されています。

これらの成果は、科学的イノベーション、戦略的な集中、そしてたゆまぬ実行力の結晶です。この成果を支えてくださったすべての皆さま、そして何よりも、科学をさらに前進させる原動力となる勇気を与えてくださる患者さんとそのご家族に、心より感謝いたします。

「プリ・ガリアン・インターナショナル」にて最優秀バイオテクノロジー賞に輝いた
第一三共／アストラゼネカ社員（2026年10月29日）▶



「プリ・ガリアン・インターナショナル 2026」最優秀賞

- 最優秀バイオテクノロジー賞 [Best Biotechnology Product] : Daiichi Sankyo & AstraZeneca「Enhertu®」、Regeneron and Sanofi「Dupixent®」
- 最優秀デジタルヘルスソリューション賞 [Best Digital Health Solution] : Evaxion「AI-Immunology™ platform」
- 最優秀メディカルテクノロジー賞 [Best Medical Technology] : Edwards Lifesciences「Edwards EVOQUE Transcatheter Tricuspid Valve Replacement System」
- 最優秀医薬品賞 [Best Pharmaceutical Product] : MSD「KEYTRUDA®」、Vertex Pharmaceuticals「CASGEVY® (exagamglogene autotemcel)」
- 最優秀オーファン・希少疾患製品賞 [Best Product for Orphan/Rare Diseases] : Immunocore「KIMMTRAK® (tebentafusp-tebn)」
- 最優秀スタートアップ賞 [Best Startup] : Dren Bio

「プリ・ガリアン・インターナショナル 2026」審査員長コメント

医療イノベーションに国境はありません。革新的な治療法や医療技術は、世界各国の研究者や企業の連携によって生み出されています。プリ・ガリアン・インターナショナルでは、各国で高い評価を受けた製品の科学的卓越性を評価するとともに、その成果を必要とする患者に届けることの重要性を重視しています。

「プリ・ガリアン・USA 2026」最優秀賞

- 最優秀バイオテクノロジー賞 [Best Biotechnology Product] : Denali Therapeutics Inc.「AVLAYAH™ (tvidenofusp alfa-eknm)」
- 最優秀医薬品賞 [Best Pharmaceutical Product] : Novartis「PLUVICTO®」
- 最優秀オーファン・希少疾患製品賞 [Best Product for Rare/Orphan Diseases] : Syndax Pharmaceuticals, Inc.「REVUFORJ®」
- 最優秀デジタルヘルスソリューション賞 [Best Digital Health Solution] : AEYE Health「AEYE-DS (AEYE Diagnostic Screening)」
- 最優秀メディカルテクノロジー賞 [Best Medical Technology] : Guardant Health「Shield™」
- インキュベーター／アクセラレーター／エクイティ賞 [Incubators, Accelerators and Equity] : PureTech Health「PureTech Health」
- 最優秀スタートアップ賞 [Best Startup] : Science Corporation、Strand Therapeutics

「プリ・ガリアン・USA 2026」審査員長コメント

医療の歴史は、革新的な医薬品や医療技術によって大きく変わってきました。特にがん治療の分野では、新たな治療法の登場により、患者の治療選択肢が広がり続けています。プリ・ガリアンは、こうした医療の進歩を支える科学的イノベーションを評価し、世界中の患者の健康に貢献する研究開発の成果を称える賞です。

プリ・ガリアンとは

プリ・ガリアンは1970年にフランスで創設された、**医薬品・医療技術分野における国際アワード**で、「医療のノーベル賞」とも称されています。**最終審査を医師・研究者が行う点に権威の源泉があり、個人ではなく製品・研究チームを表彰する点が特徴**です。これは、現代のバイオ医薬品イノベーションを支える「協調の精神」と「分野横断的な進展」を重視するためです。

受賞候補となるには、過去5年以内※に国から承認を受けており、人々の健康向上に極めて大きな可能性を示していることが条件です。年に一度の選考では**売上データを考慮せず、科学的根拠と健康へのインパクトのみを評価**します。そのため、**プリ・ガリアン受賞は世界の医療界で科学的に認められた証**として、業界内外から高い信頼と評価を得ています。

歴代の審査員にはノーベル生理学・医学賞受賞者13名が名を連ねるほか、**バラク・オバマ元米国大統領、ビル・クリントン元米国大統領、ジョージ・ブッシュ元米国大統領、テドロス・アダノムWHO事務局長**をはじめ**各国首脳・国際機関トップ**からも公式メッセージが寄せられるなど、国際的な認知度を誇ります。

現在、**米国・英国・フランス・インド・韓国など世界17か国とアフリカ地域**で展開されており、**日本・シンガポール・オーストラリアへの拡大**が進行中です。

日本がその舞台に選ばれた背景には、明確な理由があります。がん治療・再生医療・AIを活用した創薬・デジタルヘルスなど最先端領域で世界から注目を集める一方、**世界で最も早く高齢化が進んだ国**として、予防医療の停滞や新薬承認の遅延など、10年後のアジア・20年後の世界が直面するであろう課題を先行して抱えています。「**課題先進国**」であるがゆえに、その解決策もまた世界に先駆けて生まれる可能性を秘めている——プリ・ガリアン・ジャパンは、その知見と挑戦を世界に発信する拠点となることを目指します。**プリ・ガリアン・ジャパンが、日本の医療イノベーションを一步、二歩、三歩先へ。**

※「プリ・ガリアン・ジャパン」は過去7年以内に国から承認された製品が対象

「プリ・ガリアン・ジャパン 2027」開催概要

- ・ 名 称：プリ・ガリアン・ジャパン 2027
- ・ 開催日：2027年2月25日（木） 【フォーラム】調整中（13時前後開始を予定）、【授賞式典】調整中（18時前後開始を予定）
- ・ 会 場：ホテルニューオータニ（東京）（東京都千代田区紀尾井町4-1）
- ・ 主 催：The Galien Foundation
- ・ 受賞製品・企業：5製品・2企業予定 ※受賞製品・企業は、授賞式典当日に発表いたします
- ・ 内 容：フォーラム、授賞式典、ディナーセレモニー

■日本のノーベル賞受賞者からの「プリ・ガリアン・ジャパン 2027」へ応援メッセージ



山中 伸弥 教授（ノーベル生理学・医学賞受賞者）

国境を越えた協働から生まれる医療のイノベーションは、新たな希望を生み、世界の人々の人生を変えていきます。プリ・ガリアン・ジャパンの誕生は、まさにその精神を体現するものです。



本庶 佑 教授（ノーベル生理学・医学賞受賞者）

プリ・ガリアンが日本で始まることを、心よりお祝い申し上げます。長年にわたる研究の積み重ねが社会に価値を生み出し、科学の進歩とその精神を未来へつないでいく。その意義を称える賞になることを期待しています。

■「プリ・ガリアン・ジャパン 2027」賞カテゴリーと審査書類提出条件

「プリ・ガリアン・ジャパン 2027」では、以下の6カテゴリーにて授賞します。

・ 医薬品 [Pharmaceutical Product]

主に製薬企業が開発した低分子医薬品など化学合成による治療薬が対象。2020年1月1日～2026年12月31日に日本国内で製造販売承認を取得した製品。

・ バイオテクノロジー [Biotechnology Product]

モノクローナル抗体・遺伝子細胞治療・組換えタンパク質・RNA治療法など、バイオロジクスや生物由来の高度に専門化された治療法が対象。2020年1月1日～2026年12月31日に日本国内で製造販売承認を取得した製品。

・ オーファン・希少疾患 [Product for Rare/Orphan Diseases]

医薬品・医療機器のいずれも対象。日本で製造販売承認を取得していることが条件。2020年1月1日～2026年12月31日に日本国内で製造販売承認を取得した製品。

・ メディカルテクノロジー [Medical Technology]

患者の生活向上に著しく貢献した機器・装置・器具・ソフトウェア・材料などが対象。2020年1月1日～2026年12月31日に日本国内で製造販売承認を取得した製品。

・ デジタルヘルス [Digital Health Solution]

日本国内で利用可能で、患者の生活向上への貢献がエビデンスで実証されたデジタル製品が対象。2020年1月1日～2026年12月31日に日本国内で製造販売承認を取得した製品。

・ スタートアップ（A：バイオテック、B：メドテック／デジタルヘルス） [Startup (Biotech & Medtech/Digital Health)]

上市されている必要はなく、研究開発・臨床試験段階の製品も対象。科学的妥当性が実証されており、社会的インパクトを有する革新的な製品であることが条件。

※上記6カテゴリーに加え、特別賞 [Special Awards] として、「人類貢献賞 [Pro Bono Humanum Award] 」および「日本若手医科学者奨励賞 [Young Promising Doctors and Scientists of Japan Award] 」が委員会の裁量により授与されることがあります。

<共通の審査基準>

①科学的・臨床的な革新性 ②生物医学科学への知見の貢献 ③人々の健康状態の向上へのインパクト

※市場規模・企業規模・開発費用は評価対象外

■審査書類提出方法

対象企業は下記URLより審査書類をご提出いただけます。

<https://www.galienfoundation.org/submissions-japan>

■「プリ・ガリアン・ジャパン 2027」審査委員会

審査委員長：



門脇 孝 医学博士（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長、東京大学 名誉教授）

審査員：



満屋 裕明 医学博士（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 研究所長、熊本大学病院 特別招聘教授）



岡野 栄之 医学博士（慶應義塾大学 教授、慶應義塾大学 再生医療リサーチセンター センター長）



審良 静男 医学博士（大阪大学 先端モダリティ・ドラッグデリバリーシステム研究センター 拠点長）



青木 吉嗣 医学博士（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター、神経研究所遺伝子疾患治療研究部 部長）



土井 俊彦 医学博士（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 病院長）



大隅 典子 博士（独立行政法人 日本学術振興会 理事、東北大学 名誉教授・客員教授）



藤堂 具紀 医学博士（東京大学 医科学研究所 名誉教授）

※門脇委員長は最終審査会・全カテゴリー、満屋審査員は最終審査会のみ、岡野審査員は最終審査会・医薬品／バイオテクノロジー／オーファン・希少疾患のカテゴリー、他5名審査員は医薬品／バイオテクノロジー／オーファン・希少疾患のカテゴリーを担当。メディカルテクノロジー／デジタルヘルス／スタートアップのカテゴリー審査員は近日発表予定

■「プリ・ガリアン・ジャパン 2027」審査書類提出・審査スケジュールなど

- ・ 審査書類提出締切：2026年11月6日（金）
- ・ 審査期間：2026年11月～2027年2月
- ・ ノミネート候補製品・企業の発表：2027年1月～
- ・ 受賞製品・企業の発表：2027年2月25日（木）授賞式典にて

■ 過去のプリ・ガリアン受賞製品例——日本発「オプジーボ」「エンハーツ」なども海外受賞

- ・ **ブリストル マイヤーズ スクイブ（小野薬品工業※）／抗悪性腫瘍剤「オプジーボ」**：最優秀バイオテクノロジー賞（2015年・米国、2015年・ポーランド、2015年・イタリア、2016年・ベルギー／ルクセンブルク、2016年・フランス、2017年・ギリシャ、2018年・スイス、2025年・ポーランド）
- ・ **第一三共、アストラゼネカ／抗悪性腫瘍剤「エンハーツ」**：最優秀バイオテクノロジー賞（2024年・インターナショナル [イタリア開催時]、2024年・米国）
- ・ **中外製薬、ロシュ／血友病治療薬「ヘムライブラ」**：最優秀医薬品賞（2018年・ドイツ、2018年・フランス、2019年・イタリア）
- ・ **武田薬品工業／潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬「エンタイビオ」**：最優秀医薬品賞（2016年・カナダ）
- ・ **イーライリリー／糖尿病治療薬「マンジャロ」**：最優秀医薬品賞（2022年・ベルギー／ルクセンブルク、2023年・米国、2024年・インターナショナル [イタリア開催時]、2024年・ポーランド）
- ・ **ブリストル マイヤーズ スクイブ（大塚製薬※）／抗精神病薬「エビリファイ」**：最優秀医薬品賞（2006年・フランス）
- ・ **協和キリン／抗悪性腫瘍剤「ポテリジオ」**：最優秀医薬品賞（2021年・イタリア）
- ・ **ファイザー／勃起不全治療剤「バイアグラ」**：最優秀医薬品賞（1999年・オランダ、2000年・英国、2000年・フランス、2001年・カナダ）
- ・ **アボット／持続グルコース測定システム「FreeStyleリブレ」**：最優秀メディカルテクノロジー賞（2019年・米国、2022年・米国 [創設50周年記念 金メダル]、2024年・ポーランド）、最優秀デジタルヘルス賞（2022年・イタリア）
- ・ **ŌURA／スマートリング「Oura Ring 4」**：最優秀デジタルヘルス賞（2025年・米国）

※化合物の発見・開発などは日本企業。グローバル開発・販売・受賞は外国企業

《ご参考》

- ・ プリ・ガリアン 公式サイト <https://www.galienfoundation.org/>
- ・ 開催概要のダウンロード（プリ・ガリアン 公式サイト内）<https://www.galienfoundation.org/prix-galien-japan>



PRIX GALIEN
JAPAN